

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0042

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1-4号機出入管理所用設備防護システム機器(1次リース)賃貸借								
	発生場所	1-2号機閉閑所、汐見坂付近 GK-19、22				2019/12/10	2019/12/10	2019/12/10		
	作業主管G	防護管理グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICW		管理番号 F1-ICW-120		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ		B	01	D	B	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2							m <sup>3</sup>			
3							m <sup>3</sup>			
4							m <sup>3</sup>			
5							m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0297
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/26 8:45	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028		
作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	G4南エリア						2019/12/10	2019/12/10	2019/12/10		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-90		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	可燃物その他			A 04	D B	2 m³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	2	紙・ウエイス類			A 01	D B	3 m³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	3						m³					
4						m³						
5						m³						

  

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	12	—	0299	2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月26日		8:30	
【保管時の指示事項等】					

  

線量測定内容						
測定日	2019年12月26日					
測定No.	氏名	測定器	管理番号			
1		ICW	F1-ICW-393			
2						
3						
4						

  

保管 実績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
2	1	紙・ウエイス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 8:30	1.5 m³				1
								m³				
								m³				
								m³				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエイス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0050

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月26日	(木)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク設置工事								
	発生場所	H2エリア			2019/12/10	2019/12/10	2019/12/10			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/12/10	測定者		測定器名	ICW	管理番号	ICW-080		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
1	不燃シート	B	10	D	B	2 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
2	番線屑	B	10	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
3	閉止フランジ	B	10	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
4	ボルトナット類	B	10	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
5	不燃物その他	B	10	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0300
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		不燃シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 8:20	1 m <sup>2</sup>			1
2	1		番線屑①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 8:20	0.5 m <sup>2</sup>			1
3	1		閉止フランジ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 8:20	0.3 m <sup>2</sup>			1
4	1		ボルトナット類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 8:20	0.1 m <sup>2</sup>			1
5	1		不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 8:20	0.5 m <sup>2</sup>			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0046

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機 油処理装置点検手入工事(H31)								
	発生場所	1F4号機R/B						2019/12/10	2019/12/10	2019/12/10
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/4	測定者			測定器名	ICS-1323		管理番号	—
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
1	ホース類	C	03	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
2	パルプ類	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
3	オイルパン	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

受 付 番 号			
廃2019	—	12	— 0301
調整後保管日時		2019年12月26日 9:00	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	3	1	オイルパン①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 9:15	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みの事。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0083		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月27日		(金)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備鋼製角型タンク除却工事										
	発生場所	B, C排水路					2019/12/11	2019/12/11	2019/12/10			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL					
	元請会社				担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123				
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
1	不燃物その他		B	10	D	A	2 m³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
2							m³					
3							m³					
4							m³					
5							m³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0312
				2019/12/11
調整後保管日時		2019年12月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0020

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	敷地北側海岸保全工事(その2)								
	発生場所	北側護岸						2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11
	作業主管G	港湾土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者			測定器名	TCS-171		管理番号	F1-SC-128
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	伐採木(枝・葉)		D	02	W	A	2 m <sup>3</sup>	0.45 μSv/h	0.43 μSv/h	無
2							m <sup>3</sup>			
3							m <sup>3</sup>			
4							m <sup>3</sup>			
5							m <sup>3</sup>			

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0321
				2019/12/11
調整後保管日時		2019年12月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2019/12/23 8:35	3 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0020

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	敷地北側海岸保全工事(その2)								
	発生場所	北側護岸					2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11	
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者			測定器名	TCS-171	管理番号	F1-SC-128	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	伐採木(枝・葉)		D	02	W	A	2 m <sup>3</sup>	0.45 $\mu$ Sv/h	0.43 $\mu$ Sv/h	無
2							m <sup>3</sup>			
3							m <sup>3</sup>			
4							m <sup>3</sup>			
5							m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0322
				2019/12/11
調整後保管日時		2019年12月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2019/12/23 10:45	3 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0020

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0323
				2019/12/11
調整後保管日時		2019年12月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄メモ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	敷地北側海岸保全工事(その2)										
	発生場所	北側護岸				2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11				
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者			測定器名	TCS-171	管理番号	F1-SC-128			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	
	1	伐採木(枝・葉)			D	02	W	A	2 m <sup>3</sup>	0.45 $\mu$ Sv/h	0.43 $\mu$ Sv/h	無
	2								m <sup>3</sup>			
	3								m <sup>3</sup>			
4								m <sup>3</sup>				
5								m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。												

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2019/12/24 8:10	3 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐採木						
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。									

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0020

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	敷地北側海岸保全工事(その2)							
	発生場所	北側護岸					2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者		測定器名	TCS-171	管理番号	F1-SC-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	伐採木(枝・葉)	D	02	W	A	5 m <sup>3</sup>	0.5 μSv/h	0.63 μSv/h
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			

注: α有、β・α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0324
				2019/12/11
調整後保管日時		2019年12月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2019/12/24 9:50	4 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0020

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	敷地北側海岸保全工事(その2)							
	発生場所	北側護岸					2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者			測定器名	TCS-171	管理番号	FI-SC-128
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	伐採木(幹・根)	D	01	W	A	5 m <sup>3</sup>	0.5 $\mu$ Sv/h	0.63 $\mu$ Sv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			

注:  $\alpha$  有、 $\beta + \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0325
				2019/12/11
調整後保管日時		2019年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2019/12/25 8:30	5 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013109 - 0020		
作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	敷地北側海岸保全工事(その2)										
	発生場所	北側護岸						2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11		
	作業主管G	港湾土木グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者			測定器名	TCS-171		管理番号	F1-SC-128		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	伐採木(幹・根)			D	01	W	A	2 m <sup>3</sup>	0.5 $\mu$ Sv/h	0.63 $\mu$ Sv/h	無
	2								m <sup>3</sup>			
	3								m <sup>3</sup>			
4								m <sup>3</sup>				
5								m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0326
				2019/12/11
調整後保管日時		2019年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2019/12/26 8:30	4 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)							
	発生場所	福島第一原子力発電所 Fタンクエリア 屋外					2019/12/12	2019/12/12	2019/12/12
	作業主管G	機械グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/10	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-061	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
3	可燃その他	A 04	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
4				m <sup>2</sup>					
5				m <sup>2</sup>					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0331
				2019/12/13
調整後保管日時		2019年12月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 10:00	0.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 10:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃その他	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 10:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	メ モ											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0005

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年12月27日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務								
	発生場所	化学分析棟(GT-27)						2019/12/13	2019/12/13	2019/12/13
	作業主管G	分析評価グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-6
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	不燃物その他(ガラス類)	B	10	D	A	0.6 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	不燃物その他(ステンレス皿)	B	10	D	A	0.2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	不燃物その他(アルミ箔)	B	10	D	A	0.1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
第二希望日時: 2020/1/7 10:30

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0334
				2019/12/13
調整後保管日時		2019年12月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	不燃物その他(ガラス類)①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 10:10	0.6 m <sup>3</sup>			1
2	1	不燃物その他(ステンレス皿)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 10:10	0.2 m <sup>3</sup>			1
3	1	不燃物その他(アルミ箔)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 10:10	0.1 m <sup>3</sup>			1
								m <sup>3</sup>			
								m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012319 - 0005				
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月27日		(金)	10:30		承認	審査	作成					
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務												
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ(GJ-14)						2019/12/13	2019/12/13	2019/12/13				
	作業主管G	分析評価グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-122				
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
			①	②	③									
	1	不燃物その他(ガラス類)	B	10	D	A	0.2	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	不燃物その他(ステンレス皿)	B	10	D	A	0.2	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3	不燃物その他(アルミ箔)	B	10	D	A	0.1	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	4	不燃物その他(乾電池)	B	10	D	A	0.1	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
5	不燃物その他(トナー)	B	10	D	A	0.1	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 第二希望日時: 2020/1/7 10:30														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0335
				2019/12/13
調整後保管日時		2019年12月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.	
													1
2	1	不燃物その他(ステンレス皿) ②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 10:15	0.2	m <sup>3</sup>		1
3	1	不燃物その他(アルミ箔) ②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 10:15	0.1	m <sup>3</sup>		1
4	1	不燃物その他(乾電池) ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 10:15	0.1	m <sup>3</sup>		1
5	1	不燃物その他(トナー) ②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 10:15	0.1	m <sup>3</sup>		1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
②	B	不 燃 物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
③	C	難 燃 物											
④	D	伐 採 木											
⑤			状 態	D:乾燥, W:湿気有		⑥	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア					2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/10/21	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-139
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	不燃物(バッテリー)		B	10	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.012 mSv/h	無
2							m <sup>3</sup>			
3							m <sup>3</sup>			
4							m <sup>3</sup>			
5							m <sup>3</sup>			
メモ	4tユニット×1台＝バッテリー150個 10:00									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0336
				2019/12/16
調整後保管日時		2019年12月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(バッテリー)⑥	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/24 10:00	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0342
				2019/12/17
調整後保管日時		2019年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンクエリア南側					2019/12/17	2019/12/17	2019/12/17	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	木材	A	03	D	A	3 m	2 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m			
	3						m			
4						m				
5						m				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 9:00	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事							
	発生場所	K4タンクエリア南側					2019/12/17	2019/12/17	2019/12/17
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	木材	A	03	D	A	3 m	2 μSv/h	3 μSv/h	無
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	12	—	0343
				2019/12/17
調整後保管日時		2019年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 10:00	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012604 - 0022

作業主管理G記入メモ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F1 PCV内部調査(B3)								
	発生場所	GT-19(旧 棟ゴミ置き場)				2019/12/17	2019/12/17	2019/12/17		
	作業主管G	燃料調査グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-111		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	可燃物(プラスチック・ビニール類)	A	02	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0344
				2019/12/17
調整後保管日時		2019年12月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 10:00	1.8 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 10:00	1.9 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012604 - 0022

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F1 PCV内部調査(B3)							
	発生場所	GT-19(旧 棟ゴミ置き場)				2019/12/17	2019/12/17	2019/12/17	
	作業主管G	燃料調査グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-111	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無
1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
2	可燃物(プラスチック・ビニール類)	A	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	12	—	0345
				2019/12/17
調整後保管日時		2019年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 11:00	1.95 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 11:00	1.6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015303 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F1 PCVアクセスルート構築							
	発生場所	GT-19(旧 棟ゴミ置き場)					2019/12/17	2019/12/17	2019/12/17
	作業主管G	燃料調査グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-111
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	難燃物(難燃シート類)	C	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0346
				2019/12/17
調整後保管日時		2019年12月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 10:30	0.7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0006

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月27日		(金)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	小口工事											
	発生場所	高温焼却炉建屋						2019/12/18	2019/12/18	2019/12/18			
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	ICW-BL-30			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率				
		①	②	③									
1	不燃シート	B	07	D	B	0.3	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
2	フィルター	B	07	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
3							m <sup>2</sup>						
4							m <sup>2</sup>						
5							m <sup>2</sup>						

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。石棉含有物

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0349
				2019/12/18
調整後保管日時		2019年12月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃シート	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/12/27 10:00	0.01 m <sup>2</sup>		FU-00281	1
	2	1	フィルター	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/12/27 10:00	0.01 m <sup>2</sup>		FU-00281	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=7 μSv/h, β+γ線量率=7 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石棉含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石棉含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012314 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日	(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 屋外放射線環境の監視他業務							
	発生場所	屋外連続ダストモニタ小屋			2019/12/19	2019/12/19	2019/12/18		
	作業主管G	作業環境改善グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICW-193		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	ダストろ紙・厚紙	A 01	D B	1.5 m <sup>2</sup>	3.5 $\mu$ Sv/h	3.5 $\mu$ Sv/h	無	
	2				m <sup>2</sup>				
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
	5				m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0351
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダストろ紙・厚紙	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 10:15	2.4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月24日	(火)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事								
	発生場所	南造成地 大型廃棄物保管庫第一棟 (GN-12)			2019/12/19	2019/12/19	2019/12/19			
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/12/18	測定者		測定器名	ICW	管理番号			
						F1-ICW-282				
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	難燃物その他	C	04	D	B	0.1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1.3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4	木材類	A	03	D	B	0.2 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
5	可燃物その他	A	04	D	B	0.3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0352
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-126
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 8:20	0.01 m <sup>3</sup>			2
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 8:20	0.9 m <sup>3</sup>			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 8:20	1 m <sup>3</sup>			1
	4	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 8:20	0.1 m <sup>3</sup>			1
	5	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 8:20	0.1 m <sup>3</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8010505 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月27日		(金)	8:00		承認	審査	作成											
	作業件名	業務車																		
	発生場所	5,6号開閉所西側資材置き場						2019/12/19	2019/12/11	2019/12/11										
	作業主管G	資材物流グループ				監理員	TEL													
	元請会社					担当者	TEL													
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	148										
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	金属ガラ	B						01	D	B	5	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2											m <sup>3</sup>							
		3											m <sup>3</sup>							
		4											m <sup>3</sup>							
5						m <sup>3</sup>														

注:  $\alpha$  有、 $\beta$   $\alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
 ※クレーン随行有 金属ガラ寸法: 3000mm × 6000mm × 1100mm (計四段積)

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0353
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1.		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/27 8:00	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010505 - 0002		
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月27日		(金)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	業務車										
	発生場所	5号開閉所西側資材置き場					2019/12/19	2019/12/11	2019/12/11			
	作業主管G	資材物流グループ			監理員		TEL					
	元請会社				担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	148				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ			B	01	D	B	5 m³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2								m³			
	3								m³			
4								m³				
5								m³				
注: α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※クレーン随行有。金属ガラ寸法: 3000mm×6000mm×1100mm (計四段積)												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0354
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	10	不燃物その他
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0052																																																																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	9:00		承認	審査	作成																																																																														
	作業件名	G6北エリアタンク他設置工事																																																																																					
	発生場所	G6エリア						2019/12/23	2019/12/23	2019/12/23																																																																													
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL																																																																																
	元請会社					担当者	TEL																																																																																
	線量測定年月日	2019/12/20	測定者			測定器名	電離箱式SM		管理番号	F1-ICW-117																																																																													
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																														
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	2 m <sup>2</sup>	2.5 μSv/h	2.5 μSv/h	無																																																																															
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	2 m <sup>2</sup>	2.5 μSv/h	2.5 μSv/h	無																																																																															
	3	可燃物その他	A 04	D B	1 m <sup>2</sup>	2.5 μSv/h	2.5 μSv/h	無																																																																															
4				m <sup>2</sup>																																																																																			
5				m <sup>2</sup>																																																																																			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="11">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="10">2019年12月26日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="8">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="8">F1-ICW-393</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容											測定日	2019年12月26日										測定No.	氏名	測定器	管理番号								1		ICW	F1-ICW-393								2											3											4										
線量測定内容																																																																																							
測定日	2019年12月26日																																																																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																				
1		ICW	F1-ICW-393																																																																																				
2																																																																																							
3																																																																																							
4																																																																																							
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.																																																																											
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 9:00	1.4 m <sup>2</sup>			1																																																																											
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 9:00	1 m <sup>2</sup>			1																																																																											
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 9:00	0.3 m <sup>2</sup>			1																																																																											
									m <sup>2</sup>																																																																														
									m <sup>2</sup>																																																																														
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																						
	メ																																																																																						
	モ																																																																																						
	※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																										
06				—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																											
B 不燃物				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																										
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																										
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—																																																																										
C 難燃物				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																										
			D 伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																										
②			状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																															
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																																																																																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0052											
作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時		2019年12月26日		(木)		10:00		承認	審査	作成										
	作業件名		G6北エリアタンク他設置工事																		
	発生場所		G6エリア							2019/12/23	2019/12/23	2019/12/23									
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員		TEL												
	元請会社						担当者		TEL												
	線量測定年月日		2019/12/20		測定者		測定器名		管理番号		F1-ICW-117										
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率								
	1		ゴム類			C 01 D B		0.2 m <sup>3</sup>		2.5 μSv/h		2.5 μSv/h		無							
	2		難燃シート類			C 02 D B		1.2 m <sup>3</sup>		2.5 μSv/h		2.5 μSv/h		無							
	3		ホース類			C 03 D B		0.2 m <sup>3</sup>		2.5 μSv/h		2.5 μSv/h		無							
4		難燃物その他			C 04 D B		0.5 m <sup>3</sup>		2.5 μSv/h		2.5 μSv/h		無								
5																					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																					
保管 実績 記入 欄 メモ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1		1		ゴム類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/26 10:00		0.2 m <sup>3</sup>				1
	2		1		難燃シート類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/26 10:00		0.4 m <sup>3</sup>				1
	3		1		ホース類(→H)		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/26 10:00		0.1 m <sup>3</sup>				2
	4		1		難燃物その他		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/26 10:00		0.01 m <sup>3</sup>				2
																	m <sup>3</sup>				
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																				
※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —								
					06 —		07 —		08 —		09 —		10 —								
			B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類								
					06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他								
					11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —								
			C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —								
					01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —								
			D 伐採木																		
			② 状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」												
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																					
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																					
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																					
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																					

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013708 - 0091

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンクの減容保管委託(2019)									
	発生場所	定検機材倉庫A棟						2019/12/24	2019/12/24	2019/12/24	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/24	測定者			測定器名	F1-ICWJICWBH		管理番号	198,18	
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(180180)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナに詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0061
				2019/12/24
調整後保管日時		2019年12月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180180)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/12/24 11:10	21 m <sup>2</sup>		180180	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0091

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンクの減容保管委託(2019)								
	発生場所	定検機材倉庫A棟						2019/12/25	2019/12/25	2019/12/25
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/25	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	198,18	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	フランジタンク片天板(180284)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
20ftコンテナに詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0062
				2019/12/25
調整後保管日時		2019年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板(180284)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/12/25 10:40	21 m <sup>2</sup>		180284	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0037

作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	増設焼却炉建屋設置(電気工事)								
	発生場所	1F構内					2019/12/9	2019/12/6	2019/12/6	
	作業主管G	設備電源グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-61	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ダンボール	A	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。廃棄物回収場所: 自力棟(グリット番号:GT20)

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0103
				2019/12/12
調整後保管日時		2019年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 10:00	5.6 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0037

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	増設焼却炉建屋設置(電気工事)								
	発生場所	1F構内						2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11
	作業主管G	設備電源グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-61		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	発泡スチロール	A	04	D	A	3 m <sup>3</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0104
				2019/12/12
調整後保管日時		2019年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW-	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 10:00	2.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0037

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	増設焼却炉建屋設置(電気工事)							
	発生場所	1F構内					2019/12/11	2019/12/11	2019/12/11
	作業主管G	設備電源グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-61	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無
1.	ビニール	A	02	D	A	4 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			

注:  $\alpha$ 有、 $\beta$   $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	-12	—	0105
				2019/12/12
調整後保管日時		2019年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 10:10	3.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0066

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月19日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Sr処理水配管止水工事関連								
	発生場所	H8タンクエリア					2019/12/13	2019/12/13	2019/12/13	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/10/29	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-130		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	可燃その他類	A	04	D	A	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
・巡回回収希望 グリッドNo.GR-24北西										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0124
				2019/12/13
調整後保管日時		2019年12月23日 10:30		
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/23 10:15	4 m <sup>3</sup>			1
	2	1	可燃その他類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/23 10:15	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0066

保 管 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月19日		(木)	11:00		承認	審査	作成
	作業件名	Sr処理水配管止水工事関連							
	発生場所	H8タンクエリア							
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/10/29	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	可燃その他類	A	04	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
・巡回回収希望 グリッドNo.GR-24北西									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0125
				2019/12/13
調整後保管日時		2019年12月23日 10:30		
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/23 10:15	1.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	可燃その他類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/23 10:15	0.3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/23 10:15	0.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0050

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日	(水)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク設置工事									
	発生場所	H2エリア			2019/12/16	2019/12/16	2019/12/16				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者		測定器名	ICW	管理番号				
						ICW-080					
メ モ	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	紙類 ウェス類	A	01	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	D	B	0.4 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
	3	スポンジ類	A	02	D	B	0.7 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
	4	長靴類	C	04	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
5	その他難燃物	C	04	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無		
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。(巡回回収場所:GO-24:東側)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2019	—	12	—	0129
				2019/12/16
調整後保管日時		2019年12月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類 ウェス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 8:40	0.2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 8:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	スポンジ類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 8:40	0.7 m <sup>2</sup>			1
	4	1	長靴類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 8:40	0.1 m <sup>2</sup>			1
	5	1	その他難燃物	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 8:40	0.02 m <sup>2</sup>			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012320 - 0014

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	瓦礫類一時保管エリア環境改善作業							
	発生場所	一時保管エリアT (GK-33中央)					2019/12/16	2019/12/16	2019/12/16
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員		TEL		
	元請会社	-			担当者	-	TEL	-	
	線量測定年月日	2019/12/13	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-394	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	刈り草	A	04	D	A	5 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
【回収】									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	-	12	-	0138
				2019/12/16
調整後保管日時		2019年12月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	刈り草	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 9:40	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012320 - 0014	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	瓦礫類一時保管エリア環境改善作業									
	発生場所	一時保管エリアT (GK-33中央)						2019/12/16	2019/12/16	2019/12/16	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員		TEL			
	元請会社	-				担当者	-	TEL	-		
	線量測定年月日	2019/12/13	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-394		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	刈り草	A	04	D	A	5 m <sup>3</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>					
3						m <sup>3</sup>					
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
【回収】											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	-	12	-	0139
調整後保管日時				2019年12月24日 9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	刈り草	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 9:40	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6012319 - 0005																																																																																																																																
作業 主 管 欄	保管希望日時		2019年12月24日			(火)		10:00			承認		審査		作成																																																																																																																																
	作業件名		化学分析及び放射能測定業務																																																																																																																																												
	発生場所		化学分析棟(GT-27南西)										2019/12/17		2019/12/17		2019/12/17																																																																																																																														
	作業主管G		分析評価グループ					監理員			TEL																																																																																																																																				
	元請会社							担当者			TEL																																																																																																																																				
	線量測定年月日		2019/12/17		測定者					測定器名		β・γ電離箱		管理番号		F1-ICWBL-145																																																																																																																															
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																																																																																																																														
	1		プラスチック・ポリ・ビニール類(ポリ瓶)			A 02 D A			2 m³		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																
	2		プラスチック・ポリ・ビニール類(ビニール)			A 02 D A			1 m³		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																
3		紙・ウエス類			A 01 D A			1 m³		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																	
4		可燃物その他(チャコールフィルタ)			A 04 D A			0.4 m³		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																	
5								m³																																																																																																																																							
【回収】注:α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所:GT-27南西 (他の車両進入がない場合に重量≤3.5t車でのみ分析棟地下階屋根部へ車両進入。分析評価G殿了承。)																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2019年12月24日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-393</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>																	線量測定内容					測定日	2019年12月24日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-393		2					3					4																																																																																																
線量測定内容																																																																																																																																															
測定日	2019年12月24日																																																																																																																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																																												
1		ICW	F1-ICW-393																																																																																																																																												
2																																																																																																																																															
3																																																																																																																																															
4																																																																																																																																															
保管 実績 記入 欄	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.																																																																																																																								
	1		1		プラスチック・ポリ・ビニール類(ポリ瓶) (→H)		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/24 8:40		2 m³						1																																																																																																																								
	2		1		プラスチック・ポリ・ビニール類(ビニール)		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/24 8:40		0.8 m³						1																																																																																																																								
	3		1		紙・ウエス類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/24 8:40		0.6 m³						1																																																																																																																								
	4		1		可燃物その他(チャコールフィルタ)		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/24 8:40		0.1 m³						1																																																																																																																								
																	m³																																																																																																																														
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">※カテゴリ</th> <th colspan="2">A 可燃物</th> <th colspan="2">B 不燃物</th> <th colspan="2">C 難燃物</th> <th colspan="2">D 伐採木</th> <th colspan="2">② 状態</th> <th colspan="2">③ 履歴</th> <th colspan="11">A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">01 紙・ウエス類</td> <td colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</td> <td colspan="2">03 木材類</td> <td colspan="2">04 可燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> <td colspan="2">06</td> <td colspan="2">07</td> <td colspan="11"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">06</td> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13 石綿含有物(はつり屑等)</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> <td colspan="2">06</td> <td colspan="2">07</td> <td colspan="2">08</td> <td colspan="2">09</td> <td colspan="2">10</td> </tr> </tbody> </table>																									※カテゴリ		A 可燃物		B 不燃物		C 難燃物		D 伐採木		② 状態		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」													01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07															06		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14		15				01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		06		07		08		09		10	
	※カテゴリ		A 可燃物		B 不燃物		C 難燃物		D 伐採木		② 状態		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																																
			01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07																																																																																																																																
		06		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14		15																																																																																																															
		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		06		07		08		09		10																																																																																																																	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																																																																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0026		固体廃棄物管理G記入欄		受付										
作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年12月24日		(火)		10:00		承認		審査		作成		受付番号									
	作業件名		Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										高2019		12		0144							
	発生場所		地下貯水槽エリア(グリッド番号 GQ-22中央)										2019/12/18		2019/12/17		2019/12/17							
	作業主管G		貯留設備土木グループ										監理員		TEL		調整後保管日時		2019年12月24日		10:30			
	元請会社		担当者										TEL		【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。									
線量測定年月日		2019/12/16		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-113										
No.		保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率										
1		紙・ウエス類		A 01 W B		0.5 m <sup>2</sup>		1 μSv/h		1 μSv/h		無												
2		プラスチック・ポリ・ビニール類		A 02 W B		0.5 m <sup>2</sup>		1 μSv/h		1 μSv/h		無												
3		可燃物その他		A 04 W B		0.5 m <sup>2</sup>		1 μSv/h		1 μSv/h		無												
4		難燃物その他		C 04 W B		0.5 m <sup>2</sup>		1 μSv/h		1 μSv/h		無												
5						m <sup>2</sup>																		
巡回回収場所: GQ-22中央																								
線量測定内容																								
測定日		2019年12月24日																						
測定No.		氏名		測定器		管理番号																		
1				ICW		F1-ICW-393																		
2																								
3																								
4																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		紙・ウエス類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/24 8:30		0.2 m <sup>2</sup>						1	
	2		1		プラスチック・ポリ・ビニール類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/24 8:30		0.1 m <sup>2</sup>						1	
	3		1		可燃物その他		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2019/12/24 8:30		0.01 m <sup>2</sup>						1	
																	m <sup>2</sup>							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
※カテゴリ																								
①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—										
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —												
		B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類												
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他												
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —												
		C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —												
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —												
		D 伐採木																						
		② 状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																								

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア				2019/12/18	2019/12/17	2019/12/17		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	W	B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
巡回回収場所 (GP-27)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0145
				2019/12/18
調整後保管日時		2019年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 8:30	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 8:30	1.2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 8:30	0.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H6タンクエリア				2019/12/18	2019/12/17	2019/12/17	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/16	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	B・α 汚染の有無	
	1	木材類(型枠材・パレット)	A	03	W	B	5 m	20 μSv/h	30 μSv/h
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			
メモ	巡回回収場所(GP-27)								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0146
				2019/12/18
調整後保管日時		2019年12月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	B + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類(型枠材・パレット)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 9:00	4 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0011

作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	第二土捨場駐車場整備工事								
	発生場所	GM-16					2019/12/18	2019/12/18	2019/12/18	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G	線量測定年月日	2019/12/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-31		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	雑草	A	04	W	A	5 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
メ	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
モ	巡回回収場所: GM-16									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0148
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	雑草	2 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/23 8:40	4.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日	(火)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	第二土捨場駐車場整備工事								
	発生場所	GQ-22			2019/12/18	2019/12/18	2019/12/18			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/12/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-31		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
巡回回収場所: GQ-22										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0149
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 8:30	0.6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2019/12/19	2019/12/19	2019/12/19
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/18	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	061	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無
1	ビニール			A 02 D A	4 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2	紙			A 01 D A	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
3					m <sup>2</sup>				
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収場所: GM-19 北東									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2019	—	12	—	0150	2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月24日		9:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。					

線量測定内容					
測定日	2019年12月24日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-393		
2					
3					
4					

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 9:30	4.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 9:30	0.6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001																																			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年12月24日		(火)	10:00		承認	審査	作成																																			
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																																										
	発生場所		福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2019/12/19	2019/12/19	2019/12/19																																				
	作業主管G		総務グループ				監理員		TEL																																				
	元請会社						担当者		TEL																																				
	線量測定年月日		2019/12/18	測定者				測定器名	F1-ICW	管理番号	061																																		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																		
	1	紙	A	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無																																			
	2						m <sup>3</sup>																																						
	3						m <sup>3</sup>																																						
4						m <sup>3</sup>																																							
5						m <sup>3</sup>																																							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収場所: GM-19 北東																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2019年12月24日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-393</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容					測定日	2019年12月24日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-393		2					3					4				
線量測定内容																																													
測定日	2019年12月24日																																												
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																										
1		ICW	F1-ICW-393																																										
2																																													
3																																													
4																																													
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.																																	
	1	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 9:30	4 m <sup>3</sup>			1																																	
									m <sup>3</sup>																																				
									m <sup>3</sup>																																				
									m <sup>3</sup>																																				
									m <sup>3</sup>																																				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																													
メ モ																																													
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—																																
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。																																													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		固体廃棄物管理G記入欄		受付			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年12月24日		(火)		10:30		承認		審査		作成				
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務														
	発生場所		福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)							2019/12/19		2019/12/19		2019/12/19			
	作業主管G		総務グループ							監理員		TEL					
	元請会社									担当者		TEL					
	線量測定年月日		2019/12/18		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号		061		
No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
1		ダンボール			A 01 D A			5 m <sup>3</sup>		5 $\mu$ Sv/h		5 $\mu$ Sv/h		無			
2								m <sup>3</sup>									
3								m <sup>3</sup>									
4								m <sup>3</sup>									
5								m <sup>3</sup>									
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 回収場所: GM-19 北東																	

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 10:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.

6010112 - 0001

作 業 主 管 G

保管希望日時

2019年12月24日

(火)

11:00

承認

審査

作成

作 業 件 名

福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務

発 生 場 所

福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)

2019/12/19

2019/12/19

2019/12/19

作 業 主 管 G

総務グループ

監 理 員

TEL

元 請 会 社

担 当 者

TEL

線量測定年月日

2019/12/18

測定者

測定器名

F1-ICW

管理番号

061

No.

保管物名

※カテゴリ

①

②

③

物 量

測定場所  
雰囲気線量率

表面線量率

β・α  
汚染の有無

β + γ  
線量率

1

ダンボール

A 01

D

A

2 m<sup>2</sup>

5 μSv/h

5 μSv/h

無

2

ビニール

A 02

D

A

3 m<sup>2</sup>

5 μSv/h

5 μSv/h

無

3

m<sup>2</sup>

4

m<sup>2</sup>

5

m<sup>2</sup>

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収場所:GM-19 北東

受 付 番 号

高2019

—

12

—

0153

2019/12/19

調整後保管日時

2019年12月24日

10:30

【保管時の指示事項等】

●時間調整をしています。  
発生場所にて管理票の確認。  
運搬車を配備致しますので  
保管物の積み込みをお願いします。

線量測定内容

測定日

2019年12月24日

測定No.

氏名

測定器

管理番号

1

ICW

F1-ICW-393

2

3

4

保管実績記入欄

No.

枝番

保管物名

測定場所  
雰囲気線量率

表面線量率

β + γ  
線量率

保管場所

保管日時

物 量

再利用  
減容可

コンテナNo.

測定No.

1

1

ダンボール

2 μSv/h

2 μSv/h

エリアV(瓦礫類)

2019/12/24 10:10

1.4 m<sup>2</sup>

1

2

1

ビニール

2 μSv/h

2 μSv/h

エリアV(瓦礫類)

2019/12/24 10:10

2.3 m<sup>2</sup>

1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ

①

A 可燃物

01 紙・ウエス類

02 プラスチック・ポリ・ビニール類

03 木材類

04 可燃物その他

05 —

06 —

07 —

08 —

09 —

10 —

B 不燃物

01 金属ガラ

02 コンクリートガラ

03 機器類・制御盤類

04 土砂類

05 塩化ビニール類

06 保温材

07 石綿含有物

08 ケーブル類

09 アスファルトガラ

10 不燃物その他

11 フランジタンク本体

12 フランジタンク付属品

13 石綿含有物(はつり屑等)

14 —

15 —

C 難燃物

01 ゴム類

02 難燃シート類

03 ホース類

04 難燃物その他

05 —

D 伐採木

01 伐採木(幹・根)

02 伐採木(枝・葉)

03 —

04 —

05 —

② 状 態

D:乾燥, W:湿気有

③ 履 歴

A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2019/12/19	2019/12/19	2019/12/19	
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/18	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	061		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ダンボール	A	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収場所: GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0154
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 9:40	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	履歴	D:乾燥, W:湿気有	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								
				D:乾燥, W:湿気有	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								
				D:乾燥, W:湿気有	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								
				D:乾燥, W:湿気有	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								
				D:乾燥, W:湿気有	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								
				D:乾燥, W:湿気有	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0155
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2019/12/19	2019/12/19	2019/12/19
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/18	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	061	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	ダンボール	A 01	D A	3 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2	紙	A 01	D A	2 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	3				m <sup>2</sup>				
4				m <sup>2</sup>					
5				m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収場所: GM-19 北東									

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 9:40	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 9:40	1.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	メ											
	モ											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2019/12/19	2019/12/19	2019/12/19
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/18	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	081	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	たばこ			A 04 W A	5 m	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2					m				
3					m				
4					m				
5					m				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収場所: GM-19 北東

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	12	—	0156
				2019/12/19
調整後保管日時		2019年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	たばこ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 9:40	3.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。